

季刊ブックレビュー

# みどりの翼

特集

# 家族

平成24年10月 Vol. 40



◆ とびっく ◆

Read me! 「特集■家族」

新着図書・この本読んで!

図書館からのお知らせ

発行: 田原市図書館

(TEL0531-23-4946)



ティーンズ

# ブックプレゼンバトル開催！！

## ブックプレゼンバトルとは？

1. オススメしたい本を持って集まる
2. 順番に一人3分の制限時間内で本を紹介する
3. どの本が読みたくなったのかを投票してチャンプを決める！

日時 平成24年11月11日(日)  
午後2時～午後3時(予定)

場所 中央図書館館長室  
(中央カウンター横)

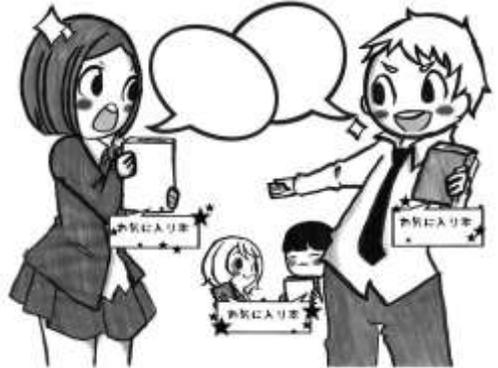
対象 中学生～高校生

定員 5名程度(申込み不要)

参加費 無料

持ち物 おすすめしたい本とその本への情熱

問合せ 中央図書館 Tel23-4946



※イベント終了後、ちょっとしたお茶会も開催予定です。

## 臨時休館のお知らせ

コンピューター機器の入れ替え及びシステム更新のため下記の期間は全館臨時休館いたします。期間中ホームページからの検索および、利用者のページはご利用いただけません。ご了承ください。

平成24年10月30日(火)～11月2日(金)

# … 特集 家族 …

あなたにとって家族とはどんな存在ですか？

なんでもないことで笑いあったり、  
おもいきりケンカしてみたり、  
あたたかく見守ってくれたり、



今回は「家族」がテーマです

身近でかけがえのない人たちのことを考えてみよう

## バラバラになる家族の最後の旅行

### 「メジルシ」

草野たき // 作 講談社 2008年 913/ク ティーンズ'



両親の離婚が決まり、自分も寮のある高校へ進学することになった双葉。父の提案で最後の家族旅行へ行くことになった。ピミョ～な空気の中、双葉は普段聞けなかった母の本音や自分の右手のヤケドの秘密を知ることになるが…。

旅行中は普段いえないことをいうチャンスだったりします。家族に本音をぶつけてみれば、思ってもみなかった反応や意外な一面を発見できるかもしれません。

## 失くしてしまった家族の絆は取り戻せるのか？！

### 「天使の耳の物語」

成井豊 // 著 ポプラ社 2009年 913.6/ナル ティーンズ'



事故の影響で、他人の考えていることが分かるようになってしまった僕。“天使の耳”と呼ばれるその能力のせいで、子どもたちに「クソジジイ」と呼ばれていることを知ってしまったり、息子がミュージシャンを目指していることを父親の自分だけが知らなかったと判明したりと大混乱。さらに、娘のバイト先の経営者たちが現金強奪事件に関わっていることを知った僕は調査に乗り出す。

## 不思議な街の春夏秋冬の物語

### 「キサトア」

小路幸也 // 作 理論社 2006年 913/シ ティーンズ

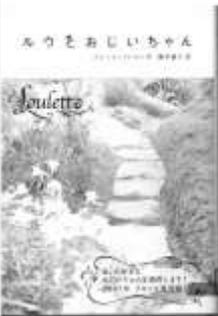


アーチは「風町」と呼ばれるほど、風の強い海沿いの町に父親と、双子の妹の4人で暮らしていた。治療法のみつからない病気にかかった妹たちのためにと朝日と夕日が同時に見える丘の上に住み始めて5年。ある日、父親の仕事仲間ミズヤが町にやってきた。噂によると、ミズヤは父が建設した風車の問題点を調査に来たらしい、さらに父に対する不信感が出ているようで…。

### 大好きだから誘拐します！

### 「ルウとおじいちゃん」

クレール・クレマン // 作 講談社 2008年 953.7/クレ ティーンズ



ルウのおじいちゃんの心が死んでしまった。おばあちゃんが死んでしまったからだ。一人では何もできなくなってしまったおじいちゃんをママは「ホーム」に入れようと言いつける。おじいちゃんの心は時間が経てば必ず戻ってくる、そう信じるルウはおじいちゃんの誘拐を計画し…！

フランスの「若い」「世代間の違い」をテーマにした本に贈る文学賞「クロノス賞」受賞作品です。

### 日本一有名な「家族」

### 「TOKUGAWA15」

堀口菜純 // 文・絵 草思社 2011年 288.3/ホ ティーンズ



みなさん知っていましたか？家康は実は健康おたくで、綱吉は超マザコンだったんです。

徳川幕府265年15人の上様たちはみんな個性的でダメなところもあれば、愛すべきところもある普通の人間だったのです。教科書だけでは分からない1人1人の上様の魅力と彼らを支えてきた人たちを徹底的に調べ上げた、今まさに歴史を勉強している中高生必読の1冊です。

## もし急にお母さんがいなくなってしまうら…

### 「猫泥棒と木曜日のキッチン」

橋本紡 // 著 メディアワークス 2005年 913.6/ハシ ティーンズ'



17歳のみずきは母が家出しても平気だった。元々父親も居ないし、家事はみずきがしていたからだ。母親が居なくなった事を期に、みずきは家の庭に道路で死んだ猫を埋めるようになった。猫の死体を拾う時に出会った健一君と5歳の弟との「ニセモノの家族」で過ごす木曜日を楽しみ、健一君と二人で猫を埋め続けるみずきだったが、ある日衰弱した子猫を拾った事で庭に埋めた猫達の死の真相を知る事になる…。

## 秋の夜長に…

### 「大切なあの人へラブレターを書こう！」

むらかみかずこ // 著 原書房 2012年 816.6/ム ティーンズ'



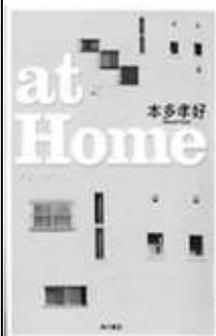
ラブレター＝愛の告白？正解だけど不正解。友達や家族など大切な人への手紙だって心がこもっていればラブレターなんです。すぐ送れるメールも便利だけど、たまにはちょっと心のこもった手紙を作ってみませんか？

年賀状・父の日・暑中見舞いなど季節に応じた手紙の書き方から、ラブレターに使いたいフレーズなどなど、ラブレターを書くためのヒントが満載！

## 様々な家族の形

### 「at HOME」

本多孝好 // 著 角川書店 2010年 913.6/ホン 一般



父は泥棒・母は詐欺・長男は文書偽造など様々な犯罪で生活する一家、日曜日を一緒に仲良く過ごす血の繋がらない父娘、借金の返済代わりに偽装結婚した夫婦、妹の抱える問題に皆で悩むばらばらになっている家族…いわゆる「普通」の家族ではない家族の短編集です。どの家族も色々な問題を抱えていますが、皆で悩んで解決しようと頑張る所に絆を感じます。血の繋がりがだけが家族じゃないと読んだ後に思える作品です。

## 家族4人で世界一周！！

「いつもココロに青空を。青空はつながっている。」

高橋歩 // 文・写真 A-Works 2010年 290.9/タ ティーンズ'



家族皆で世界一周！期限はなんと無制限！そんな羨ましくなるような事を実際にしちゃった高橋さん一家。お父さんの歩さんが撮った写真と感じた事の文章の本なのですが、どれもすごく自由で楽しそうです。ハワイから始まり、ブラジル、南極海、チリ…様々な場所の風景や出会った人との写真がとても魅力的で実際に目にしてみたくになります。

世界一周は無理でも、家族で旅に出たくなる一冊です☆

## 母は強し！

「MAMA」

紅玉いつき // 著 メディアワークス 2008年 913.6/コウ ティーンズ'



落ちこぼれ魔術師トトはある日、人を喰らう孤独な魔物と出会う。トトは魔物に「ホーイチ」と名付け、彼の母親になることにするが…。

トトとホーイチの支えあい寄り添って生きる、固い絆で結ばれた2人の関係があるきっかけで壊れそうになります。

自分はひとりではない。たくさんの愛に囲まれて生きているんだということに気付かされる物語です。

## ☆「家族」なCD&DVD

CD『パレード』Galileo Galilei 211/ガ 中央

北海道出身3人組のロックバンドのデビューアルバム。メンバーのうちヴォーカル尾崎雄貴とドラム尾崎和樹はなんと兄弟。CMで話題になった「ハマナスの花」、「僕から君へ」など全11曲収録。

DVD『マンマ・ミーア!』 C42/マ 中央

母娘二人暮らしのソフィーの夢は、生き別れの父親と結婚式のヴァージンロードを歩くこと。夢を叶えるためソフィーは結婚式に3人の父親候補を招待する。

★★CD・DVDは人気の資料です。貸出中の場合は、予約をしてね！

📖他にもこんな本あります♪📖

○「わたしの家族はどこかへん？」

レイモンドM. ジャミオロスキー // 著 大月書店 2006年 367.6/ジ ティーンズ\*

○「ママのリスト」

St. ジョン・グリーン // 著 イーストプレス 2012年 936/グリ 一般

○「かあちゃん」

重松清 // 著 講談社 2009年 913.6/シゲ 一般

○「カルテット！」

鬼塚忠 // 著 河出書房新社 2010年 913.6/オニ ティーンズ\*

○「兄妹パズル」

石井睦美 // 著 ポプラ社 2010年 913.6/イシ ティーンズ\*

○「何度でも君に温かいココアを」

小瀬木麻美 // 著 ポプラ社 2009年 913.6/コセ ティーンズ\*

○「卵の緒」

瀬尾まいこ // 著 マガジンハウス 2002年 913.6/セオ ティーンズ\*

○「殺人者の涙」

アン＝ロール・ポンドゥ // 著 小峰書店 2008年 953/ポ ティーンズ\*

○「おかあさんの思い出ごはん」

フジテレビ商品研究所 // 編 亜紀書房 2010年 596/オ 一般

○「どうぶつ家族」

岩合光昭 // 著 クレヴィス 2011年 480/イ 一般

○「パパの電話を待ちながら」

ジャンニ・ロダーリ // 著 講談社 2009年 973/ロダ ティーンズ\*

予告：次号の特集は「バカ☆本」です。お楽しみに♪

## ☆新着図書・この本読んで！☆

### 引越して大変

#### 「100回目のお引越し」

後藤みわこ // 著 講談社 913/ゴ ティーンズ



小6のタツルは叔父さんが経営する小さな引越し屋「野中運送」の手伝いをしている。記念すべき100回目の引越しは今にも崩れそうな家に一人で住んでいる徳重さんというおばあさん。だけど、なぜか徳重さんは引越しするのをとても嫌がっている様子。果たして100回目の引越しは成功するのか?! 名古屋出身の作者による名古屋弁満載のお話、あなたの「でやしなもん」(←読めば分かる)は何ですか?

### 少年は旅をする

#### 「フェリックスとゼルダ」

モーリス・グライツマン // 著 あすなろ書房 933.7/グラ ティーンズ



孤児院で暮らすユダヤ人の少年フェリックスは、生きていくはずの両親を探す旅に出る。しかし、フェリックスを待っていたのはナチスによるユダヤ人虐殺というつらい現実だった。それでもフェリックスは生きるために持ち前の豊かな想像力と勇気を武器に、自分の運命と闘っていく。

どんなにつらい状況でも希望を捨てず、がんばるフェリックスに勇気がもらえます。

### 優しくて 深い

#### 「クマのあたりまえ」

魚住直子 // 著 ポプラ社 913/ウ ティーンズ



「ベっぴんさん」である事が自慢の孤立したチドリ、「ふもとのまち」のかあちゃんを探すサル、不安を和らげてくれる不思議なアメンボ、殺し屋のアオダイショウ、お腹をすかせたライオン、自分と友達の間について考えるコイ、死ぬのが怖いクマ…「生きること」を考えさせる7つの短編集。

ほんわかした優しい文章ですが、所々どきっとさせられます。担当はコイとクマの話がお気に入りです。